

医療生協わたり病院の医師研修理念

住民の医療要求にこたえ患者さんの人権を守る立場で社会的に信頼される医師となるための基礎づくりをおこなう

当院は、厚生労働省指定の「基幹型臨床研修病院」です。指導医の監督のもとに研修医(医師免許を取得した1年目、2年目の医師)が外来・病棟で診療を行っております。日本の未来を担う医師を養成するために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

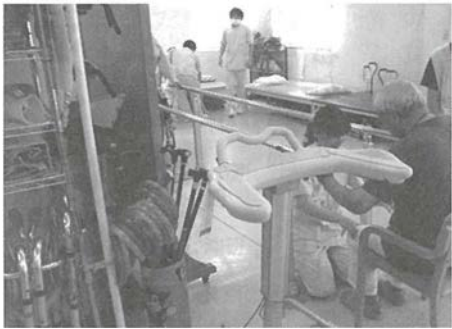
ふくしま



医療生協

2015年7・8月号 第366号
発行責任者 渡辺 幸夫
http://watari-hp.jp/

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34番地
生協いの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字塗谷地20-1



理学療法室でのリハビリの様子

特集 わたり病院のリハビリ いま、福島で注目されています

わたり病院が めざすリハビリ

わたり病院がめざすリハビリは、心身に障がいを持つ方とご家族が、住み慣れた地域で、その人らしく前向きに人生を送れることを目標に支援して行くことです。そのため、家庭訪問などを積極的に実施し、入院中か

外来リハビリ

外来リハビリは、理学療法・作業療法言語聴覚療法をおこなっています。特徴としては、小児の言語リハビリや嚥下外来を行っていることです。

小児の言語訓練は、ことばの遅れ、発音が上手くできない、語の一部を繰り返したり、

在宅生活をイメージしての治療・訓練を行っています。また、地域の急性期病院との連携を密にし、患者さんを受け入れるとともに、訪問看護ステーションや、はなひろの

在宅のリハビリにも力を入れています。緩和ケア病棟にも、リハスタッフを配置しています。今回は、いま福島で

引き延ばしたりするといった症状を訴え来院される子どもが多く、言語聴覚士は保護者から情報収集し、評価、指導、訓練を行っています。

嚥下外来は、飲み込みに問題がある方に対しての相談を行っています。毎週火曜日(午前のみ)、渡邊亜貴子先生を中心に、言語聴覚士も関わりながら、問診・診察・嚥下内視鏡検査をし、実際にどのように飲み込んでいるかを観察し、評価・指導等を行います。

外来リハビリは全て予約制になっています。外来でのリハビリ希望のある方は、主治医からリハビリ医の渡邊亜貴子先生(金曜の午前中が診察日になっています)にご相談下さい。



南2階の回復期病棟では365日リハビリをおこなっています

注目されているわたり病院のリハビリを紹介いたします。

入院リハビリ

「回復期」
回復期のリハビリは、命の危機を脱してもまだ医学的・心理的サポートが必要な時期の患者さんを対象にしています。多くの医療専門職がチームをくみ、身体的、精神的回復や、起きる、食べる、歩く、トイレに行く、お風呂に入るなどの日常生活活動獲得のため、集中的なリハビリを実施し、介助法の指導や生活環境等の提案を含め、住み慣れた自宅や地域社会で自立した生活へ戻れるように支えています。

「一般病棟」

呼吸器・循環器・内分泌疾患から術後の患者さんなど、様々な疾患の方に幅広く対応しています。患者さんの状況に応じて、身体機能・精神機能・日常生活動作能力の評価を行い、能力の維持・向上、日常生活活動の獲得、廃用症候群の予防など、各患者さんに合わせた介入をしています。また地域包括病棟もあり、退院支援等も行っています。糖尿病の患者さんに対しても運動療法の指導を行っています。

どんなリハビリがあるの？

〈理学療法〉

「あたりまえ」に。「いつも通り」に。座る、立つ、歩く。私たち理学療法士は身体づくりの専門家として人の暮らしの「あたりまえ」を支えていきます。足に関する専門的な知識を持つ多くのスタッフが、インソール(中敷き)等を用いて、土台である足から、身体づくりを進めております。

〈作業療法〉

脳卒中や骨折手術後の身体機能障がい、また認知症や高次脳機能障がいなど



〈言語聴覚療法〉

「により生活に障がいを持つ人全てに関わります。日常生活の諸動作や作業、仕事、趣味など人に関わる全ての諸活動を作業療法の「作業活動」と呼び、治療や援助もしくは指導の手段としています。その人らしい生活の獲得が目標となります。運動機能、精神機能面を見ながら食事やトイレ等その人に合った生活の方法を習得できるよう援助します。また、家事動作や就労など必要な活動に関しても援助しています。

言語聴覚士が対象とする主な障がいは、ことばの障がい(失語症や言語発達遅滞など)、きこえの障がい(聴覚障がいなど)、声や発音の障がい(音声障がいや構音障がい)、食べる機能の障がい(摂食・嚥下障がい)などがあります。これらの障がいは、先天性から、病气や外傷による後天性のものがあり、小児から高齢者まで幅広く現れます。このような障がいのある方に対し、評価訓練・助言を行い、より良い生活を送ることができるよう支援する専門家が「言語聴覚士」です。



第49回 通常総代会

健康・平和・いのち輝く社会
組合員と職員の協同の力で実現しよう

第四十九回通常総代会が六月二十一日コラッセふくしまにおいて、美出席百六十四名、委任四十七名、書面議決十五名の二百六十六名により開催されました。

今回は大震災・原発事故から四年三ヶ月での総代会です。また、放射能汚染の影響がくらしと生業に重い影響を落としています。安倍政権の戦争する国づくりが本格化し、医療介護制度の改悪が行われ、暮らしへの不安が広がっています。

総代会の会場には、例年と違った期待や確信が感じられました。十四人の組合員さんから発言があり、それぞれの支部や班の創意工夫した活動が明るく語られました。職員からは、遠藤院長、松崎ひだまり所長、医局事務等から病院・施設の様子が報告され、明るい展望を持つことができました。今年度は、病院の増改築をいよいよ本格的に議論します。以下は、今年度の決議文です。



総代会決議

私たちは昨年度は、健康診断や健康チャレンジ、空間線量や食品放射能測定、組合員の得意分野を生かした楽しい班・サークル活動に取り組みしました。高齢者のお茶会や仮設住宅入居者の支援を行い、組合員ふやしや機関紙配布率の向上、班づくりを通して安心のネットワークを広げました。事業活動の面でも職員の奮闘と組合員の利用結集によって収益をふやし、新たに三人の研修医を迎え、わたり病院の増改築に向けた議論を開始することにしました。これらの成果に確信をもち、さらなる前進をめざして、二〇一五年度も力を合わせて次のことにとりくみましょう。



1 第六次長期計画でめざす医療や介護のあり方を組合員職員で話し合い、わたり病院の増改築計画を具体化する議論をすすめましょう。
2 医師研修を成功させ、いのちの章典に沿った医療介護活動の前進をつくりだす中で、組合員の利用結集と増資を広げ、六次長期計画を推進する経営基盤を強めましょう。

3 地域包括ケアシステムの具現化が市や町ですすむ中、医療生協の特徴と力をいかし、地域の諸団体との連携もひろげながら、誰もが安心してくらし続けられるまちづくりに向けて、つながりマップづくり、組合員ふやし、機関紙・班サークルサロンなどを通じた結びつきの強化にとりくみましょう。
4 減塩をテーマとした生活習慣づくり、健康診断・健康チャレンジ・禁煙ポスターコンクール・空間線量と食品放射能の測定など、地域まるごと健康づくりに向けた活動をすすめましょう。
5 多様な年代層の要求に沿った取り組みで活動参加者

第49回通常総代会 支部及び班表彰

支部表彰

○優良賞(12支部)

年間10回以上運営委員会を開催し、全国4課題のいずれか2つ以上を達成している支部(①組合員増やし年度目標、②出資金増やし年度目標、③5人以上または年度当初の3分の1以上の担い手ふやし、④3班以上の新班結成)

渡利、南向台、飯坂、平野余日、大笹生笹谷、あづま、鳥川平田、大森永井川、杉妻、川俣、霊山、保原

○奨励賞(1支部)

特徴的な企画・催し物などで支部活動を活性化させ、生協活動の発展に貢献した支部

中央支部 (2013年6月から毎月の地域訪問を継続し、組合員の実態把握と死亡組合員の名義書換、機関紙配布率の向上などによって支部活動を活性化させ、生協活動の発展に貢献した。)

班表彰

○優良賞(28班)

①年5回以上班会を開催し、組合員を10人以上または年度当初の班員以上ふやし、社保活動も努力している班

[南向台]あじさい班・さつき班 [中央]若葉班 [蓬萊]たけのこ班 [平野余日]キャッツA班・矢野目第一班 [清水北]夕もみじ班 [あづま]ひめさゆり班 [杉妻]沖班 [飯野]あじさい班 [川俣]深海班・古組班・あじさい班 [霊山]竹の内班 [保原]柏班・姫班 [川西]森山班

②1年10回以上班会開催を2年間以上継続している班

[渡利]高谷班・高谷ヘルシー班 [もちずり]ストローク班 [松川]浅川班 [東]あじさい班 [大笹生笹谷]みどり班・新町班・横堀班 [清水北]クローバー班 [鳥川平田支部]さざんか班 [川俣]やよい班・ひまわり班

街頭宣伝で「戦争法案」

絶対反対!の訴え

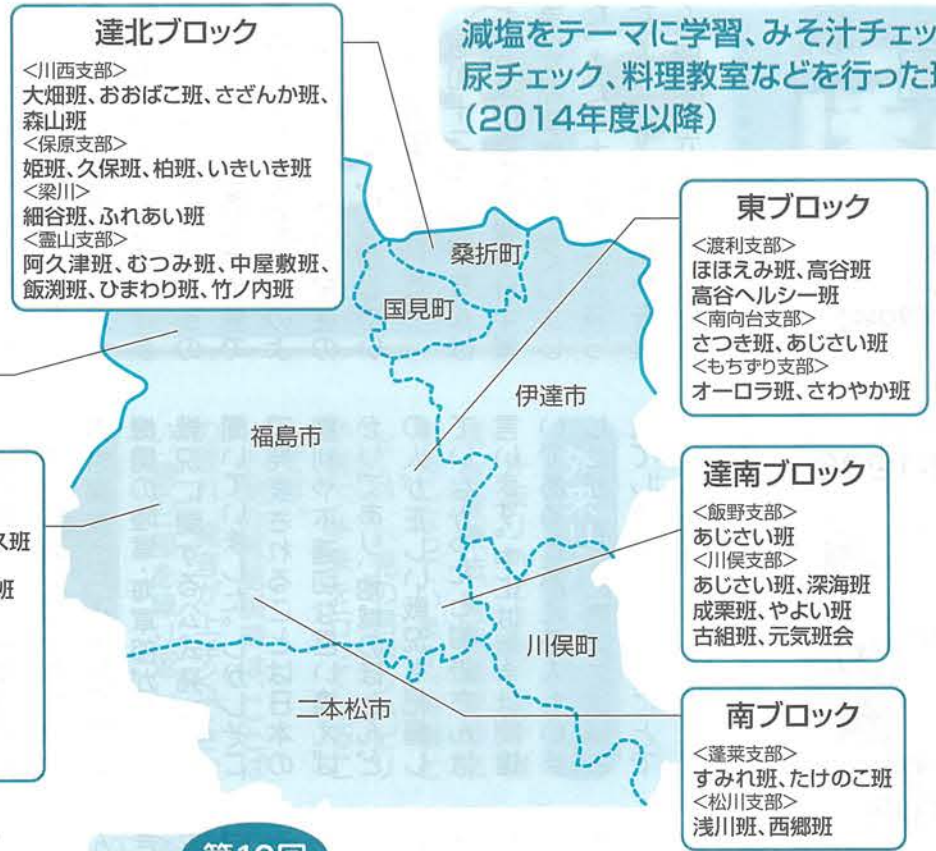
総代会終了後に戦争法案反対の街頭宣伝を行いました。街頭宣伝には百五十四人の組合員、職員が参加し、福島駅前でデモ行進を配りながら歩行者の皆さんに署名の呼び掛けを行いました。約三十分の街頭で、署名は百六十五筆集まり、参加された組合員さんからは「家族や友人を戦争へ行かせたくない」、「戦争法案絶対反対」といった訴えが数多くありました。



▲「平和な日本を守りましょう!」強く訴えました

減塩すつへ福島県⑤

減塩運動が広がっています
 〔班・組合員活動の紹介〕
 自宅のみそ汁を味見しながら塩分濃度を測ったり、スーパーに売っている食品にはどのくらい塩分が含まれているかクイズを行うなど、支部の保健委員と班を中心に減塩運動が広がっています。シリーズ五回目では減塩に取り組む班や組合員さんを紹介しします。
 (組織部)



減塩に取り組む組合員さんに ちよつとインタビュー

尿塩分チェックの結果が約半分になり、減塩運動が広がっています。

渡辺芳子さん (霊山支部 竹ノ内班)
 減塩を始めたきっかけは？
 昨年の班会でやった尿チェックの結果、塩分摂取量が他の人より多かったからです。
 ● 今年の尿チェックでは塩分摂取量が6gまで減りました。具体的なポイントがあったこと、心掛けたのでしょうか？
 塩分測定器を使って、毎朝、みそ汁の塩分濃度を測っています。それから、豆腐、おひたし、お寿司などに使う醤油の量に注意するようにしました。以前は納豆に醤油を足していましたし...

たけどねえさん (平野余目支部 ともしび班)
 まわりの大切なかたへ
 塩分計を購入されましたが、減塩しようと思ったきっかけは？ またどういことを注意していますか？
 塩分摂取量の検査をした際に目標の6gより少し高かったからです。時々、塩分計でみそ汁をチェックしているほか、しよっぱいものには注意するようにしています。
 ● 一人で十本もの塩分計を購入されましたよね!
 わずかな気持ちではありませんが、健康のため塩分を減らすきっかけになればと兄弟や親戚、習い事の先生やお友達に差

加藤国子さん (平野余目支部 ともしび班)
 減塩運動を続けて二十二年
 高谷班では尿チェックを毎月やっているとお聞きしました。その辺りの経緯を聞かせてください。
 木彫りのサークルがきっかけで医療生協の班を始めました。が、班会を開いたら尿チェックをするのは当たり前だと思っていました。今では二十年以上続けてきたことが誇りになっています。

毎月ですと班会に職員が参加できないこともあったと思いますが？
 尿チェックと血圧測定は自分たちでやっています。体組成測定はボタンが多くて苦手です。ね(笑)
 ● 班の皆さんの塩分摂取量に変化は？
 始めた当時は平均10〜12g程度でしたが、今では4〜6gの人がほとんどです。
 ● どういった減塩をされてきたのでしょうか？
 まずはみそ汁と朝の塩辛いものを「すこし」控えることから始め、塩鮭や梅など買物をするときも気を配るようにしました。今では主人も塩分を気にするほどで、家族の減塩のコツは、バレないように「すこしずつ」薄味にすることにです(笑)
 また班会で毎月尿チェックをしてきたことで、自己管理がきちんと継続できたように感じています。

ちよつとインタビューにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

第10回

「戦争する国」の声をあげ 戦後最悪の「戦争法案」を廃案に 追い込みましよう

蓬萊支部 那須 稔雄

戦後、七十年間、憲法九条に守られて、日本の自衛隊員が外国の人を殺すことも、外国の兵士に殺されることもありませんでした。しかし、安倍政権は海外で戦争する国づくりのための「戦争法案」を今国会で決めようとして

この法案は、武力行使を禁じた憲法に違反することがあきらかです。
 第二に、アメリカが世界のどこであれ、戦争をはじめたら、今まで自衛隊が行くことになかった「戦闘地域」まで行って軍事支援ができるようにすることです。こうなれば、自衛隊は、「殺し、殺される」武力を行使することになります。
 第二に、政情が不安定な地域であっても、平和維持活動に参加し、任務遂行のための武力行使を可能としています。
 第三に、日本が攻撃されていなくても、アメリカが先制攻撃の戦争をおこした場合に、集団的自衛権を発動し、

自衛隊が海外での武力行使に乗り出すことです。
 みんなで戦争法案を廃案に追い込み、平和な日本を守りぬきましょう。



2015年夏休み リフレッシュ企画

- ◆場所：エルグランディア越後中里
- ◆日時：8月7日(金)～9日(日)
- ◆定員：親子3～4組(10人)
- ◆参加費：1人2000円
- ◆対象：福島医療生協の組合員とその家族
(組合員でない方はご加入ください)
- ◆内容：ホテルを起点にプール・魚のつかみ取りなど
- ◆申込みメ切：7月24日(金)
- ※定員を超えた場合は抽選となります。

申込み・お問合せ
福島医療生協 組織部 Tel.024-522-1236

今年も販売しています 島原手延べそうめん

360年の伝統をもつそうめんです。きれいに包装されており、贈答用にも最適です。

内容量50g×36束
通常価格 4,200円 → 組合員特別価格 2,900円

お申込み：福島医療生協 組織部 TEL024-522-1236

無料 法律相談会

- 日時
7月9日(木)13:30～15:30
8月13日(木)13:30～15:30
※日には変更になる場合があります。
- 場所／医療生協わたり病院内
事前申込制 Tel. 024-522-1236
- 相談員／あぶくま法律事務所弁護士

INFORMATION

これからの行事

7・8月

どうぞご参加ください

- ピースチャリンコ**
(装飾を施した自転車で走り平和や原発ゼロをアピールします)
- ◆日時／7月19日(日)9:00受付開始
10:00スタート
 - ◆場所／ニツ沼総合公園(広野町)～
三崎公園(いわき市)
 - ◆参加費／1,000円(昼食、給水含む)
ピーチャリ終了後にバーベキューを開催します。
※どなたでもご参加可能です。
※自転車は各自でご準備いただきます。
申込み・お問合せ：福島医療生協 組織部
Tel.024-522-1236

わたり病院夏祭り

- ◆日時／8月7日(金)17:30～
- ◆場所／わたり病院

蓬萊健康まつり

- ◆日時／8月29日(土)10:00～
- ◆会場／蓬萊学習センター分館

子ども病院探検隊

- ◆日時／8月1日(土)
- ◆場所／わたり病院
申込み・お問合せ：福島医療生協 組織部
Tel.024-522-1236

第13回

私は訴えたい

過去から学ぶ平和な国づくり

平野余目支部
紺野 静雄(88歳)

終戦から七十年が経過しました。戦争を知る世代が少なくなっていく中で、戦争の悲惨さを体験者の方から学ぶ機会も減少していきま

す。今回は平野余目支部の紺野さんに、戦時中に福島で暮らす人々は戦争をどのように感じていたのか、現在の日本についてどう感じているか、をお聞きしました。

昭和十二年、紺野さんは七、八歳の頃に父親を日中戦争(支那事変)で亡くしました。まだ三十五歳の若さだったそうです。日中戦争を経て、昭和十六年からいよいよ太平洋戦争が開戦します。当時紺野さんは学校の授業で作った真空管ラジオで大本営発表(日本軍最高統帥機関の陸軍・海軍部が行った戦況に関する公式発表)を聞いていました。しかしそこで発表されることは日本の勝利や不適切な言い換えばかりであり、地域のほとんどの人が正しい戦況を把握していなかったと紺野さんは言います。中には戦争は間違っている、と訴える人もいましたが、すぐに憲兵に逮捕されてしまったとのことでした。

原水爆禁止2015年世界大会in広島(8/4～6)

唯一の被爆国として「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに核兵器の廃絶を求める世界大会に、今年も福島医療生協から代表として近藤真一さん(組合員)、池俊平さん(職員)、田村大生さん(職員)を派遣します。

派遣募金にご協力ください

松根油製造の釜(土湯)

★ふるさとの歴史探してみませんか★ 11

蓬萊支部 菅野 家弘

土湯温泉観光協会の手前を左に入ると薬師こけし堂の下にでる。階段をのぼると(ここは昔の会津街道だった)聖徳太子堂や薬師こけし堂があらわれる。太子堂の前に忠魂碑、平和記念碑、従軍記念碑があり、更に他の場所から移された松根油の釜がおい

てある。戦時中、松の根をにつめてガソリンの代用にした。その時使われた釜である。土湯村では、坂ノ上の旧グラウンド跡地で二基操業したという。供出させられた太子堂の鐘に代わって、一基ここに運ば

「平和のための戦争展」

- 八月六日～九日
蓬萊学習センター
- 八月十三日～十六日
コラッセふくしま

